

## 附設生からの受験アドバイス

国立大学医学部に合格した久留米大学附設の学生からのアドバイスです。

- ・夏休みまでは、下手に問題集を漁って解くより、暗記に徹した方が良い。これは、学校や久留米自習室の先生たち、指導者と一緒に解くのはいいけど、自分ひとりで勉強する時には、下手に解く事より、まずは暗記することに集中した方が良いという事。
- ・3行ぐらいの英文を、寝る前にガンガン読んだ。プロブレスを全訳して添削してもらおう。これは、附設の生徒だから3行英文なんだけど、英語が苦手な生徒とか、普通の生徒は1行から始めよう。久留米自習室で配っている一行英文とかそんなやつです。
- ・受験勉強を始めて、最初の3ヶ月は英単語の暗記をやり続けるべきだった。年末・年始になると、英語を覚えてない生徒たちが焦りだします。今の内に暗記だね。
- ・英単語カードでシャッフルするべき。赤シートでは、次の単語がわかってしまうから。これは読んでのとおり、ターゲットの単語カードを彼はススメていたが、自作が良いです。
- ・私大を受けるならイディオム、国立を受けるなら、イディオムは無視だ。これも読んでの通り、少し極端だが、英語の先生に相談しつつ行きましょう。
- ・例え附設生であっても、スイッチが入って、1ヶ月で切れてしまうものだから、その一ヶ月のスイッチが入っている時にまとめて勉強するのが大事だそうだ。
- ・自分は久留米自習室でしか勉強していない。附設生と言えど、家での勉強はダメ。九州大学工学部を滑り止めに、佐賀大学医学部に合格した彼でも、家での勉強は意味なしだと言っていたね。「家で勉強しています」と言っていた生徒は、ほぼ合格できてない。
- ・教える先生ではなく、ヤル気にさせてくれる先生が大事。彼は我々をそう呼び、「教えるだけなら、学校の先生だけで十分」と言っていた。
- ・「勉強してるぜ」と言っていた附設生は落ちた。黙々と勉強していた人が合格した。
- ・自習する気がなくなった日は、1~2時間で、さっさと帰った。
- ・夏休みの間、家でパソコンをいじっていたから、ケーブルを学校に置いてきた。
- ・友達がセンター10日前に自治医大の二次に落ちて、その日は勉強が手についてなかった。センター前に入試を受けて、試験慣れしたが良いが、あまり直前のだとそうなりますね。
- ・センター試験本番の数学で、「半径」と「直径」を読み間違えて大変な事になった。「これ、絶対に解けないだろ？」と悩んだ時間ももったいなく、大きく失点したそうです。
- ・久留米自習室に入って、D判定になった時は嬉しかった。C判定取れた時はもっと！彼は5月の駿台模試偏差値が48~50でE判定だった。そこから合格しますよ。
- ・面接試験で、受験票を前に置いて準備していたら、「受験番号を教えてください」と言われて、覚えてなかった。前かがみになり読み上げたので、「落ちた」と思ったそうだ。
- ・数学Iと数学Aは、なぜ分かれているの？など聞かれる。面接試験の過去問対策が必要であり、それがズバリ出る。医療事故なども調べておいたのだが、過去問にもなかったように出なかった。
- ・抽象的な応答をしてしまうと、必ず突っ込みが入ります。